

水源禪師法話集 68

(2016年10月8日 山梨合宿1日目)

2017年5月16日

一乗禪の会



目次

水源禪師法話	1
水源禪師が学生時代に興味を示した科学、医学、宇宙工学、物理は人類の輝き.....	1
全てのインフォメーションは過去も未来も心の中にある.....	2
死について非常な恐怖を持っていた比丘が預流果に達するまで.....	3
無明の故に、生まれ変わりが発生する.....	4
観音様に導かれて仏光山との有り難きご縁.....	5
生き続けるというループから出られない私達、いち早く抜け出て涅槃に行きなさいと。.....	6
魔の手法の罠にはまらない本当の仏教.....	7
質疑応答	9
嘘ついでおべっか使って表面	
では良い子が、影では友達をいじめているのは非常に悪い事.....	9
豊洲問題	10
「仲間同士で喧嘩したら、大変な事になりますよ」.....	11
長いものに巻かれろとやっていたら、やはり大変な事になる.....	12
心を広げて、観音様の様に愛のバイブレーションを少しでも与えて行けば.....	13

水源禪師法話

水源禪師が学生時代に興味を示した科学、医学、宇宙工学、物理は人類の輝き

ジャータカ物語から始めましょうね。お釈迦様の事を、今まであまり言わなかったのは、やっぱり初めからジャータカ物語を深くお話ししたら、何かこう違和感があるかもしれないという事で。もうそろそろ良いのかな？という事で始めたのだけれど。というのはこのジャータカ物語には凄い事が書いてあるのですよ、想像を絶する様な。普通の私達の社会ではあり得ない様な、神通を使うお話とかいっぱい出て来るわけです。だから空想科学小説なんて、問題にならない様な、もう凄い大世界が書かれているから、法華経もまたそうなのだけれども。

それで、ちょっとこうお話ししたら、お釈迦様が言わんとする、何を言わんとしているかという事を外しても困るし。それで結局、現代の私達は「科学、科学」と科学の力に溺れきって、本当の事がなかなか見えない様になっています。科学を決して否定するものではないのです。ただその科学を悪用して、人をコントロールするという恐ろしい事もまた発生します。良い方向ばかりでやるのでしたらそれは問題ないのだけれども。

結局、その昔、私が小学校の頃、「原発ほど素晴らしいものは無い」と。「人類の英知で恐ろしい破壊の兵器から平和利用する、何と素晴らしいものであろう」と。私もそう信じていたわけですね。「原発は絶対間違いないし、良い事ばかりだ」と。そういう事で「何と素晴らしいのだろう」と。「科学は何と素晴らしい事だろう」と。という風に思って「これからは絶対科学の世界だ」と、そう思っていたのです。

私は中学校の頃から、科学部の部長を務めたり、まあそういう風な純科学少年だったのだけれども。で高校に入って今度、Cさんには失礼だけれど、弘前大学は医学部が非常に良いから、医学関係とかそういう方向も見て行ったわけですね。人を救うという事で。ところがです、いやあ、実験室に入ったら、死の臭いがするわけですね。死、デス(death)。「いやあ、ちょっと違うな」と。「幸福を与えるバラ色の臭いをしなきゃいけないはずなのに、何でこの実験室に入って行ったら、生命が死ぬ様な死の臭いを出すのだろう？」と。

まあそういう事から、それでも「じゃあ、宇宙工学とかそういうものは素晴らしいのではないか？」と。で特にこう「時空を超えて他の世界が見えたら何て素晴らしいのだろう」と。そういう事をやって行ったけれど、アインシュタインの理論では絶対に光のスピードは出せないし、絶望的な根底があるわけなわけです。その時代、私達の時代。「いやあ、でも、絶対にこれはおかしい」。実際におかしかったわけ。E=MC²。何故光の値をそこに持って来て、それがどうして2乗になるのかという。どのお方も「この点は絶対的なものである」という。「動かされない事である」と、教え込まれて。でも、ちょっと違うみたい。実験によればこれは間違いみたい、という事が分かり始めてきます。

全てのインフォメーションは過去も未来も心の中にある

それで、ま、それは別として、物理学というのはエネルギーAがあれば、他に転換する事は、Bに転換する事はあっても、絶対に消滅しないわけです。絶対に。必ず何かのエネルギーに変わって行くわけです。

ところが、人間は生まれて死ぬと。ゼロから発生してゼロだと。これもどうもおかしいと？どう考えてもこれはおかしいと。これは物理の法則に絶対に反する事なわけ。ゼロからゼロに発生して帰るという事は物理学的にはあり得ないわけで、必ず物体が何かに変化する事はあっても、消える事はないわけ。

ではその今、アインシュタインのセオリー(理論)でブラックホールというのがあるでしょう？ブラックホール。でそこに入ってしまうと、全ての情報が消えて、何も無くなると。これもまた、物理の原則から反するわけ。ゼロになってしまうと。「あ、それで、ゼロから発生してゼロか」ところが問題は、これは物理の世界では絶対にありえないわけ。何故かと言ったら、こう水道、ジャーツと流すでしょう？そして、こう桶に入れるでしょう？で、桶から取るでしょう？無くなったけれど、この物体(水)は出て行ったわけ、どこか。どこかに出て来る。ゼロにはならない。

という事はアメリカのこの人こそ物理学賞を貰う人なのだけれども、トランバー・ジョーと言ってね、「水道直し屋」という事で。やっぱり見たら、私が今ここで完全に消滅したとしても、私の全エネルギーとこのビジョンと私がした事は、宇宙の彼方に必ず存在すると。宇宙の果てに。だから、絶対に消える事はない。これはどうも、お釈迦様の理論に近付いて来たわけですね。

結局、今までこう生きて死んで、生きて死んで、生きて死んでという事は、そういう事は信じられるけれど、本当なのか？、本当でないのか？と。で最初にダライラ法王様がトロントに来て、実際にダライラマさんと会って、こういう風に。本当に近くで会って、それでお話して頂いて、いやあ、凄い頭脳を持った方でした。いや本当に今まで「生命は死んで生まれておしまいと、それでゼロ」と強烈に西洋では話されて、「ただヒンズーと仏教だけは違います」と。物理学の最高の法則を見たら、絶対に宇宙のどこかに全ての記憶があると。

実際に実は心は宇宙よりでっかいのです。だから当然、私の全てのインフォメーションはこの心の中にあるわけ。過去無量に生きては死んで、生きては死んでというプログラミング(色即是空 受想行識の NAMA RUPA の行サンカラ)によって無量にでも入っているわけです、これが私という『我』なわけ。『我』。この『我』が絶対に死にたくないわけです。だから、消す事が出来ないプログラミング。発生してしまったら一切記録しているのです。それでちょっと難しい話しましたがけれど。私が法随観で過去生を観て、いやあ驚き。実際に全ての記憶が残っていました。ダーツと。じゃあ、未来はどうかと。未来も設定されてるわけですね。ちょうど川の流れがあるでしょう？滝の上から水が落ちれば、落ちる着地点が大体分かる、確実になくても、その方向が。

と、いう事で、ディーパンカラ、大燈明仏(燃燈仏)がお釈迦様に授記を与えて、「お前は将来、この地球に生まれて、正覚して、人に教えるという凄い仏になるだろう」という事で。そ

ういう風に見えるわけですね。方向性はこっちに行くという事は。でも、そう簡単ではないです。いろんなストーリーがあつて。

それで、結局私達は何時でも死という事を「一体何だろう？」と。分からないから、やっぱりモヤモヤとして恐怖があるわけですね。この過去永遠に、私達は食べなきゃ死ぬという恐怖。今私達人間はねまた戦争で殺されるという恐怖。ところが、過去に動物であったかも分からない。私達は食べられるという恐怖、死という恐怖がもの凄く強いわけです。それで先が見えないから、根底では死を否定してしまうわけ。「死というものは無い」と。否定は出来ないけれども、死という事を考える事は止めるわけです。ただ、死んで天国に行く事だけは OK と。死んで皆天国に行つて素晴らしい世界に入ると。という実態が本当にあれば良いのだけでも、死んで皆が天国に行ける実はないわけ。どの宗教をとつても、そう簡単にはそこに行けないとなっている。だから、人はまた「怖い、怖い」と。

死について非常な恐怖を持っていた比丘が預流果に達するまで

それで、これはお釈迦様がね、祇園精舎で教えていた時に、この比丘はね、非常に良い家庭の子で、お釈迦様のお話を聞いて、「いやあ、本当の真理を知りたい」と。「お釈迦様のそばで法を学びたい」と。ところが、死について非常な恐怖を持っていたわけです。もちろんお釈迦様の教えの死の瞑想も、もちろんやったけれども、全然効果がないわけ。風の音を聞いても震え上がるわけ。ああっ！誰かに襲われるとか。それから鳥の歌声を聞いても、もう震え上がって。何時でも、恐怖に慄いている。

それで、皆比丘達がこの比丘のお話をしている、その時に御釈迦様がお部屋に入ってきて皆さん何をお話ししているのと(当時はとても気さくに御話しされているみたいでした)。「いやあ、この比丘は異常なところがあつて、ちょっとした音、カサカサッと衣がすれる音でも、跳び上がって声を出して、逃げ回る」と。それで、お釈迦様がね、究極の悟り『苦集滅道』という四聖諦。つまり人間は苦の中で生きています。そしてそれがずうっと集まって集まって、生きて死んでこれが苦の堆積。でこれを如何に崩壊して、そして涅槃に達するという、『苦集滅道』のお話をしたら、直接お釈迦様の話は心に入って行くから。その話しを聞いたら、預流果になって、ソタパナ(Sotāpanna)。スーッとそこに到達して死の恐怖が消えてしまったと。

お釈迦様曰く、「この比丘は、前世で象さんだった」と。素晴らしい象さんだっただけに捕まえられて、王様から、「この象を人間に使える様にトレーニングしなさい」と。皆が象がいう事をきかせる様に丸太に繋いで、結局鋭い棒でとがった棒で突くわけです。ところが、この象さんはもの凄く痛くて、もう地獄の様な苦しみなわけです。言う事もあまり聞かないから、ますます刺されるわけですね。あまりの痛さに、この象さんを押さえてた丸太、大きい柱をバーンとぶち破って、ヒマラヤの奥に逃げて行つたと。

それでもう、その恐怖が強くて何時でもその恐怖が強いから、「森の中でもこう音がサワサワとしたら、やられるのではないか？」と。そういう風にずうっと逃げ回っていたわけ。ヒマラヤで。今度生まれた時に、良い家庭の息子に生まれて、そしてお釈迦様に会うまで、こういう風

な非常な苦しみがただあるわけです。

では何故、死の瞑想をして、自分の死が何時来るか、そういう事が分かるから死の恐怖は無いはずなのにと。ところが、余りの死の恐怖で、自分自身が死ぬという事が考えられないわけです。だから、その手法は効かなくなっているわけ。ただ、お釈迦様の『苦集滅道』の説法を聞いて、悟りを開いて預流果の位に上がって行ったわけ。それで、もう死の恐怖が消えたわけなのです。究極の悟りされた身体よりのお言葉は、すぐに人々救うわけです。



無明の故に、生まれ変わりが発生する

その死の瞑想で一番大切なのは、まず最後に自分の事をしっかり見なきゃいけない。そうすれば、何時どこで死ぬという事が分かれば、あんまり恐怖が無くなってしまふ。殆どその時点で。特に過去生で何回も生死を繰り返し、また未来も見えた場合には、完全にもう体得してしまうから、死の恐怖というのは無くなってしまふ。また、新しい生命体に入れるから。

それで、お釈迦様が悟りを開いた時に、こう言われたわけですね。「無明の故に、生まれ変わりが発生する」と。結局、『無明』。本当に法を理解出来ない。ただ、生きて死んで行くと。私達は皆こう世界に生きているわけ。私達の現世では、お釈迦様以外にこれくらい明快に

説いた方はいないわけです。どんな哲学者であっても、どんな宗教の偉い人でも、言われた人は一人もいないわけです。だから無明なわけ、過去も観えないし、未来も観えないし、どうなっているか分からないという無明の故に、それで生まれてしまう。で、この無明の故に「生きたい」という心が発生するが故に、この縁で、自分の記憶、過去の記憶、その「美味しく沢山食べたい」とか。説明したでしょう？前に。それによって、こういう生命体がずうっと発生して行(サンカラ)くと。

お釈迦様はこの無明を如何にして解き放って、涅槃の世界に行けるかという事を、真夜中に発見して、朝方にそれをもう一回確かめたわけです。「どういう風に涅槃に達するか？」と。このお経は、非常に大事なお経なのですね。お釈迦様が何を悟ったのか。という事で、結局今お話した永遠に恐怖が続く、この世の苦の集積、苦の塊の世から、如何にして抜け出せるかという事をこの比丘にお話したわけです。『苦集滅道』。そして聞いて理解して、お釈迦様のバイブレーションだから、もう深一く入って行くわけですね。心の中に、スーッと。だから、仏に会えるという事はどれ程、幸せか分からない。また、会えなくてもこうして皆さんが今一生懸命努力されて、修業されたら、凄い仏縁があるわけなのですよ。

観音様に導かれて仏光山との有り難きご縁

仏光山とのご縁も何年前でしたか？5、6年前でしたか？分かりません。

【参加者】

3年前ぐらい？

【水源師】

3年ではない、もっとでしょう。6年か。たった一瞬、少し会っただけで、その縁で、私、今、ここに座って大事にされて。良い縁。だから、良い因縁を作れば、これ程凄い接待を受けるわけです。凄いでしょ？大事にされて。副住職さんも「本当に嬉しい」と。「また来て下さい」と。特に観音様、凄いもので。私が観音様を彫ったら、観音、観音、観音で。いやあー、で愛の瞑想も皆さんされて。

この名利大寺院の星雲大師という方は非常に高名な方で、中国では。全中国。本土と台湾と中国コミュニティーでは。もう、神様みたいな人で。何と今日、食堂に入って行く時、最初に見たら『観世音菩薩』と書いてある字を見て、いやあ全て観世音菩薩。凄い因縁ですね。観音様との因縁がだんだん出来て行って。やっぱり観音様という方は凄い方です。凄い方。もう想像を絶するくらい凄い、素晴らしい方。口では言い表せない。という純、愛の、宇宙の愛を持った方。そういう素晴らしい因縁を私達は観音様から戴いていますから。皆さんも、安心されて、安心されて子供に帰る様に楽しく修業して下さい。もうここに来たというだけで保障されたみたいなものです。大丈夫ですよ。

生き続けるというループから出られない私達いち早く抜け出て涅槃に行きなさいと

もう特に、今の世ではもう皆、物の欲に負けてしまって、「来世もない、何もない」という「今この一瞬だけが大切で、あと何も関係無い」と。完全に因果関係を否定する様な考えだけでも、ところが物理学的には、それはあり得ないわけです。突然、空中からパッと出て、空中にパッと消えると。宇宙にはそういう世界はないわけです。コンピュータでボタン押せば、パッと出て、パッと消えるけれども、宇宙の因果関係そこには無量のプログラミングがあって、それで消えないわけです。または押せば尽きることなく出てくるし。それでループに入れば、消す事も出来ない。クルクルクルクル。止める事も出来ない。それが私達の現状。

私達のこの生き続けるというのはループに入っているわけです。出られないわけ。そのコンピュータの場合は、このサイクルだけだけれども。私達のサイクル、このループはあっちに飛んだり、こっちに行ったり、どこに行ったかまたここからクルクルクルクル。あっち行ったりこっちに行ったり。でも、ずうっと見て行けば、同じ様な繰り返し。その内に、突然に遙か彼方の時空の因果関係が出てきて、さっき言った象さんが苛められたみたいに、大変な苦痛で死の恐怖に慄くと。次の世で。何にも悪い事していないのに。という風な、私達の合理では合わない様なこの現実の社会なのですね。摩訶不思議な社会。だから、お釈迦様は「いち早くそういうノイズを取って、サーッとノイズを取って、そして涅槃に入って下さい」という素晴らしい法を教えてください。

皆さんがこうしてまず第一歩。こうしてここに来て修業されると。もうこの一步を踏み出してるのだから、この一步は消えないわけです。この良い高德が。この広い日本で仏国で、皆さんみたいに真面目に「来たい」と言っても、なかなか難しいし、これを具現化して来たというこの因果は凄い事だと思います。特に、ここは禅寺なのです。禅寺、でもこの大和尚さんはもうそういう事はなかなか難しいくて出来ないからと、普通ただ良い心を持って、身口意ですね、良い行動をして、良い言葉でお話して、良い事をしましょうと。この人間仏教ですね。まあこの原則。これだけでも凄い事で、この大和尚様の口から出た事を真面目にやれば、間違いないです。

でも、それだけでは、無量遠劫の因果関係によってこう行けないわけです。それで、布施第一と言って、布施第一。布施の高德は凄いと。もちろん、修業はそれ以上だけれども、私達はなかなか難しい世の中の仕組みによって修業出来ないわけです。私達は布施によって修行する。修行の高德が凄いものだから、布施された方々に、修行出来たこの高德を御返し出来るわけです。だから皆さんはこうして座られて、この現実。私は凄い事だと思う。本当にゼロから始めてこの日本で。ここまで来た。だから天界はちゃんと皆さんを観て応援して下さっていますから。まあ口では簡単に言いますが、迷いに負けない様に。「そりゃ違うな。嘘だ」と。そういう事には耳を傾けないで、淡々とこうして一日1分でも、5分でも、瞑想をすれば凄い事だと思います。

魔の手法の罠にはまらない本当の仏教

今の世の中はなかなかこういう瞑想させるという事をさせない様な仕組みになっている。これは有名な 1850 年代の聖テレジアの予言で「これからの世の中は、滅茶苦茶に早く動かすと、早く動かせば休む事が無いから、心も休まれないと。という魔の手法の罠にはまって行きます」と、明快に言っている。今、その事態が発生している。で私は飛行機ジェットで飛んで来るから、それは良いのだけれども、このために、今度は「飛行機に乗りたい、お金を稼ぐ」という風な事で、「それで遊びたい」と。何か目的があれば良いですよ。ところが娯楽娯楽で、結局その為に身を粉にして、そしてジェットコースターに乗って「アーツ」と一瞬(笑)。その挙句の果てに何も無いって(笑)。それでもなお良い方で、災難貰ってくる方もいるようですね。

という事を言いたい事であって、この文明の発達で、上手く利用したらそういう事は素晴らしいのだけれど、それをさせない様にさせない様に出来ているから。そういうさせない様な事を見破って、その罠に嵌らない様に、この様な環境でこうして一生に一時間でもこうして座る方は、日本に数えるしかないですよ。。それで法に出会って。素晴らしい比丘尼さんがいっぱい来てちゃんとお世話して貰って。これこそこれ本当に天国。お金、一銭も「これだけ下さい」とか、絶対言わないから。ゼロはゼロで OK。凄い事です。これが本当の仏教。



質疑応答

嘘ついておべっか使っている表面では良い子が影では友達をいじめているのは非常に悪い事

【参加者】

今の先生のお話は、まさにそういう今の日本の中で・・・。

【水源師】

世界ですよ。

【参加者】

多くの子供達がそうだと思うのですが、私の妻の友人の子供が、不登校になって、学校に行けないと。詳しい事は直接会っていないので、分からないのですが。色んな要因があるのだと思うのですね。例えば、その子に私が会ったとして、今の様なお話を子供にしてもどうなのかな？それが分かるのかな？と思って。子供でなくてもなかなかそれは分からないと思うのですけれども。

もちろん私が瞑想して、私自身が心が綺麗になればそれによって何かがあるのかもしれないですけれども。何かもう少し具体的というか、何かその子にしてあげられないかなと思うんですけれども。どういう言葉をかけてあげたら・・・？

【水源師】

まずさっき、言った様にアリさん、ここにいるけれども。アリさんを踏まない様にと。アリさん分かるわけ。さっき、象さんが虐められたでしょう？次の世でも、もう気が狂った様に死ぬのではないかと。明快に言えば、ここが問題。実は不合理に虐められるとか、不合理な事をされてるから、学校に行きたくないと。学校の学友が心分ちあって本当の事を言って、学校の方針で皆いたわり合って仲良く、という事は嘘なわけです。子供たちは嘘で生きていけないわけです。大人の社会もまた一緒。働かなければ、食べて行けないから我慢して生きて行くしかないわけです。

だから昨日のニュースで見たけれど、D社と言えば、日本でも素晴らしい名門会社だけでも、24才の人が自殺したわけですね。週100時間以上の残業か何か知らないけれど。週に10時間寝るか寝る事が出来ない。実態はこういう会社が日本に11%ぐらいあると。それに近いのが20%。これは国家の問題なわけです。学校も、結局先生にプレッシャーかけて、「何故こういう事になるのか」と。もうお互いにその象さんを突いている様な感じ。だから、これを如何にしてストップをかけるかと。やっぱり公にして、「悪いものは悪い。良いものは良い」と

。そういう誤魔化しの社会を、特に子供の社会でしない様にしなければ。

嘘付いておべっか使いは、良い子だと。陰では友人を虐め合ってるとか。という事は非常に悪い事だと。特に今、因縁の社会という事は否定されてるから。だから幾ら人権問題を言っても、過去世からそういう事は消えないわけです。だから、この問題を一体どういう風に対処するかという回答は、無いどころか悪化して、「ああじゃない、こうじゃない」と。

何故かと言ったら、私とその昔、交通局で働いていたものだから、高校に全く新しい新入生が来るわけ、全く先輩がやっている事は全く知らないわけです。誤魔化して、お金払わないでバスに乗るとか。物を投げつけて壊すとか。全く教えないのに、同じ事するわけです。絶対に知る事がないのに。という社会環境というか、中学生の頃からのそういう連続の波で、この時気になれば絶対これをするという風な。

だから心理学で、一つ一つ、その大きな大木の葉っぱ一つ一つ見ても解析出来ないわけです。結局、何故この葉っぱが枯れるかと。覆われてるから、(光が入る様に)バーっと取れば良いのだけれど。ところが、その末端のそういう事ばかりいっぱいする様な仕組みになってるから、お互いに「大きく、こうだ。お前専門ではない」という。「これは口出ししちゃいけません」と。でも「この木は、覆われてるから当然成長しませんよ」って。「何を言っている。ちゃんと栄養与えてるし、風通し良いから大丈夫だ」と。そうなったら、結局東京の豊洲問題みたいに、後でバレて。

という現実で、結局ね、人間はこの強欲というか、こういう人間はどうしても存在するわけです。どんな事をして。という結局ね、ハイエナが野生の赤ちゃん食べて「美味しい。美味しい」と。「やめろ」と。「食べなきゃ死ぬから、食べる」と。こういう現実を明快に見て、ちゃんと仕組みを作って出来るだけ防がなきゃいけないわけです。

豊洲問題

今度、豊洲問題が発生したけれど、必ず爪腹切らせるのは、下。下。上は逃げ切る。というこの不合理。結局、民主主義の名において、これを本当は良い事なのに、これを上手く利用して。築地移転の時、2000万円掛かると。「いやあ莫大な金使うのだなあ」と。いまや、6000億ですって(笑)。

それもね、作る所は、私、そういう関係の事は良く知ってるから、こうなのです。大体ね、ゴミを捨てるでしょう？ゴミを捨てたら、何というの、毒が発生するでしょう？捨てたものは誰も買わないじゃない？特にそういう所で科学処理する会社があるわけです。鉛作ったり、バッテリー作ったり、もうこれ以上悪い毒素はないというところ。うちの会社、そこを買うわけ。何故か？安い(笑)。ただみたいなもの。という風に作るわけね、公共だから。でも働かされてる人間はおかしくなっていくわけ。

それで政府の方の役人を呼んで、私はまだ良いよ、公務員関係だから、来るのだけれど。「いや問題なし」と。でも病気になっているわけです。ところが、埋め立てたそこは、前に工場があると。普通は誰も買わないわけ。だから、ただなわけ。ほとんど、ただ。投げ捨てる土

地。それをゼロから、何兆円という金が出て来るものだから、それは濡れ手に泡だから、莫大な利権が入ってるはず。それも、全部税金で払う事になるから、間違いない。これ程、おもしろい商売はないわけです。

ところが、真面目に会社がにやれば、潰れちゃう。一杯働いて、競争が激しくてね。そしたらね、そういうルールがないものだから、今度もう焼けのヤンパチで(笑)。ポンポンポンポン「当たった。大当たり！」「後知らん」って食い逃げて(笑)。あと、10年、20年、50年経って、「福島、いやあ、こんな事してたのか！！」と、こうなるわけだね。

だからこれはね、民主主義が悪いのか？ってそうではない。昔、共産主義といったでしょう？。ね？10人いれば、5人働くか、1人働くか、皆黙って働くか。給料皆一緒だから。国自体が、貧乏、貧乏になって行く。うちの会社がそうだった。凄い高給取りで、12人いて、1人だけ働いて、あと皆見ているの、こうして(笑)。まあ減茶減茶。給料一緒。如何にして働かないかと。

だからこれはねやっぱり、人間性の問題になって来るわけ。ずるければ、ずるける程、儲かる様になっているわけ。「いやあ腰悪くした」とか。「いや、今もう子供が病気で帰らなきゃいけない」そういう事は実は全然ゼロだけれど。という、これはね、やめろと言ったって、美味しいものを食べたいみたいにやめられないわけよ(笑)。ごく稀に、小池さんみたいな方が出て来て、「いやこれはおかしい」という英雄が出て来るのだけれども、殆どは「長いものに巻かれて、美味しいものも食べられるし、頭痛くないし、もう退職するし、関係ないわ」と。

でも、私達の社会の眼から見たら、「この人は賢いな」と。でも、因果関係では、今、ここで私が首をパンと落としても、やっぱり本当の事で死ぬ方がまだましなわけです。という事は、結局悪い因縁を作っていないわけです。私は殺されるだけで、この人の悪縁問題で、私は関係ない悪縁なわけ。現代の世界は如何にこの因縁の力の恐ろしさという事が分かってない。だからもう空論になって中近東地域では数百万人が殺戮されています。

「仲間同士で喧嘩したら、大変な事になりますよ」

ちょっと触りを言いますと、お釈迦様はこうお話ししていました、「仲間同士喧嘩しちゃ駄目ですよ」と。それでお釈迦様が祇園精舎で瞑想してた時、そしたら自分の生まれたネパールの故郷で今、水争いしてる、見えるわけです。お釈迦様が、皆の前で、空中に現れるわけ。スゥーッと。空中。で川の上に留まるわけ。光をサーッと放して。そして、丘の上で説法をし始めるわけです。「皆さん、仲間同士で喧嘩したら、大変な事になりますよ」と。「こういう事は、止めなさい」と。何故かと言ったら「その昔、私がヒマラヤの木の神様だった」と。英語ではフェアリーテイルという。神木には、それぞれ高徳な魂がそこに宿り付くわけです、それを神というわけです。第一天。まあ、この話は明日にする？(笑)

では、話して(笑)。その昔、その森の沙羅双樹の中で生きて、そこの中の大將みたいな存在だったと。でも、他の神々が「こういう森の中にも、誰も私達を有難く思わないし、何のお供えもない」と。「それより、人間のいる町とか村の側の大きな大木に住んだほうが後利益

もあるし、みんなお供えもいっぱい来るから」という風に、沙羅双樹の半分の神々はそっちに行っただけです。お釈迦様は「そういうところに行ったら、木一本で立って、嵐になったり、人に切られたりしたら、もう防ぎようがないよ」と。「この森にいたら、いろんな木があって、人も入れないし、風が吹いても、皆と一緒に繋がっているから、倒されない」と。「だから、こっこのほうが良い」と。(他の神々は)「いや、いや、いや。」と、そして出て行ったわけ。神々と言えども出て行ったわけ。

そして、この神木様達が、王が死んで新しい王様が出来て、その当時は王様が「今度、神々は全て好きな所に住みなさい」というお触れを出したわけ。おとぎの様な話しただけけど。だから日本にはあちこちに神社があるでしょう？今日も言っていたけれど、ここには龍神様が居って、拝む事が足りなかったから変な事がいっぱい起こったと。90歳のおばあちゃんが、一生懸命お祀りしたら、ピタッと止まったと。私も龍神をちゃんと見ています。本当に存在します。私が旅行している時に、絶対に明日は飛行機が飛ばないと、もう絶対に飛ばないと。そして私がこう龍神様にお願いいたしました「如何にか飛ばしてください」と。龍神がバーッと現れて、そしたら、次の日に欠航便が解除で飛ぶと電話連絡が来ました。

それは余談として、その神々が街の大きな祇園精舎とか色んな所に行って、良いお布施を受けたわけ。ところが、何と大嵐が来て、木が根こそぎ倒されてもう住む所が無くなったと。神といえども、住む所が必要なわけです。だからインドネシアとか、インドネシアのバリ島に行けば、神の住む家があるわけです、ちゃんとちっちゃい。「住んで下さい」と。特にずうっとインドネシアの高い山に行けば、本当に綺麗なお宮みたいなのを作っている。またラオスの山奥に行ってもそうなわけ。だから昔、日本ではどこの家でも神棚があった。家を守る神様。今はないがしろにしてしまっているけれども。私は神棚を見て、実に気持ちが良かったわけです。手を合わせて、守ってくれて何と素晴らしいだろうと。私にはね純粋にそう見えるわけです。何にもおかしくない。

それで、大きな台風みたいなのが来て、大台風で全部潰れて、それで神々の嫁さんとか子供が、住む所がないと言って泣いて、沙羅双樹のお釈迦様の森に帰って来たわけです。という話をネパールのカピラバーツの町の人達に話したわけ「喧嘩は止めなさい」と。「今ここで、喧嘩して水争いをしたら大変な事になりますよ」と。という祇園精舎から空中を飛んで行って、スッと出て来るわけ。それで空中に留まって光出して、そしたら皆「ワーッ」とびっくりして。その神通で。人はただお話したって聞かない。その奇跡で、戦いを止めたわけです。その話。

長いものに巻かれろとやっていたら、やはり大変な事になる

だから、そういう今、小池さんみたいな英雄が出たら、みんな納得していくけれども、ところが長いものに巻かれろと、そういう事をやっていったら、やっぱり大変な事になるし。でも、こういう方がたった一人でもいるから、やっぱり希望があるでしょう？。今。あっちこっち日本でもこういう政治家が沢山出てくれたら、国民の方々は税金を払っても間違いなく公平に行くと

思いますね。

特に、これからの日本社会は年金問題が非常に大きく発生して、これは完全に改革しなきゃ駄目。絶対に改革しなきゃいけない。私の場合死ぬまで働ける。何で死ぬまで働く必要がある？(笑)。私は働いている最中に、その時点で給料を働いても働かなくても死ぬまで同じ金がもらえる。自裁に辞めても同格のお金が月ごとに銀子振り込みで、今は働く以上のお金が送られてきます。それに家内も私が死んでも、死ぬまで困らない様に支給されます。この日本がこれだけの経済大国で何故これが出来ないか？と。どこにお金を回しているのかと。これは止めるべきだ。でなければ、さっきの象さんみたいに突っつきあうよ。それで挙句の果て、登校拒否みたいな事が発生します。

結局、皆真面目に働いてるのだから、それだけの恩恵を受け取れなきゃいけないし。た或少し働いて後手で何だかんだと文句付ければ文句付ける方がうんと儲かって、それでもう喧嘩をしたくないので皆黙って我慢しているわけです。これは止めさせなきゃいけない。ところが、現代社会みたいに因果関係ゼロの考えの場合は難しいね。

心を広げて、観音様の様に愛のバイブレーションを少しでも与えて行けば

だからせめて私達はこうして瞑想して、本当に心がどんどん大きくなって行けば、このバイブレーションでね、そういう子供に優しく肩触れて「大丈夫だよ。おじちゃんが友達だからね、心配しなくて良いよ」って。その心を広げて話してくれる人。お父さん、お母さん、忙しくて話しが出来ないかも分からないし、もう学級の中では皆から虐められて酷い思いをしてるかも分からないし、行く所がないわけです。真面目に生きている人達は大人の社会でもきっとそういう風に虐められていると思います。

だから、人間が私達が、色んな考えを超えて、お釈迦様がさっき言った様に、沙羅双樹の森の様に手を繋いで生きて行くという事が非常に大切だと思う。それが「これしましょう。ゲートボールしましょう。ダンスしましょう」それは良いよ。良いのだけれども、本当の心と心の対話が出来て、お茶が飲めて、ね。それで心から話し合える場所があれば良いのだけれども、皆くだらない話で酒に酔っ払って、何も話したくないし。こういう風に真剣に生きて、(仏像彫刻を見て)彫刻素晴らしいですね、Eさん。

【参加者】

有り難うございます。

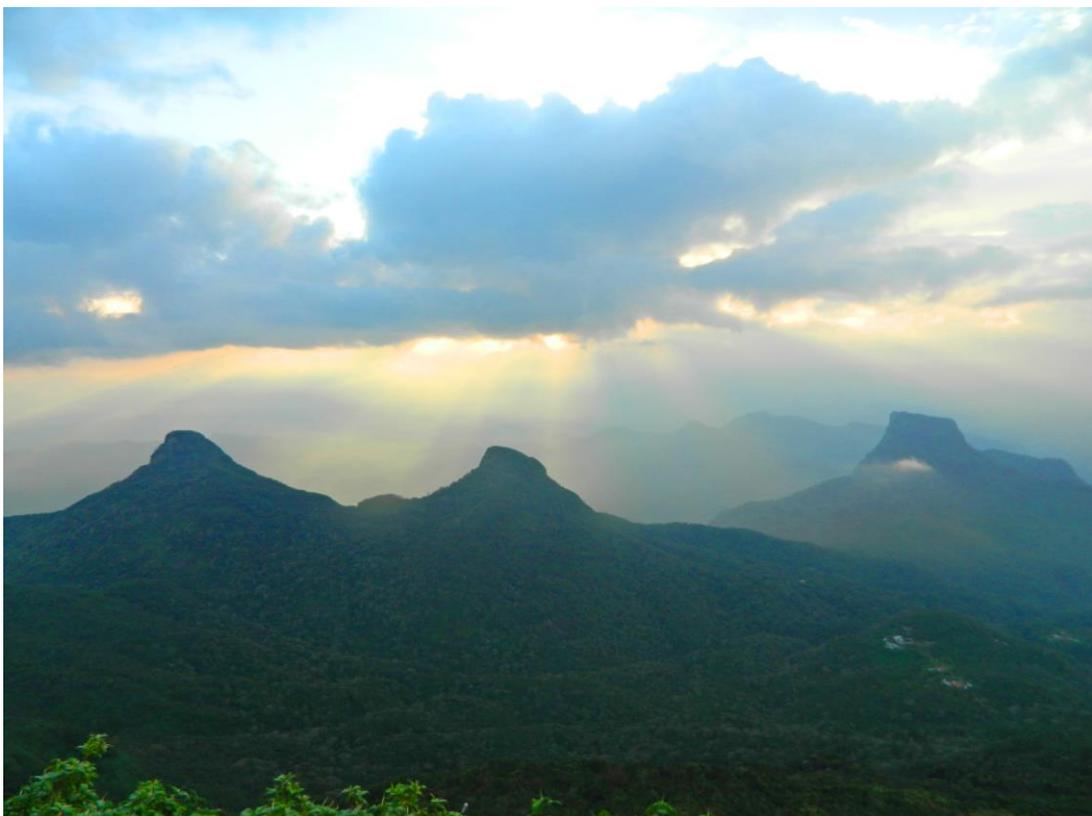
【水源師】

という風な素晴らしい生き方が出来るわけです。それで誰かさんに(仏像を)あげて喜ばれると。これが本当の人間の生きる道だけれど、今度何だかんだで何かを勉強したら、沢山の金取られる、(笑)。又、台無しになるわけです。瞑想を教えると。道場に行くと、それは素晴らしい先生だろうけれども、一時間何ぼ何ぼ。ま、やる気なくなってしまうと、何時まで座

っても何も無いし(笑)。

という風に、結局、私達はこうして、愛の力をどんどん強く強くして行って、この愛(Metta)の心の振動を少しでも与えて行くという素晴らしい高德が出来ると思うのだけれども、それ難しいよ。なかなか出来ないけれど、こうして修行してるという事は、もう障りが消えて行くから、花が大きくなりやすいです。大きく咲きます。私も、自画自賛ではないのだけれども、町を歩いていたら、みんなが一斉に花咲いて見るようです。これはこの日本だけではない。カナダでもそう。「オー、オーラを出してるね」なんて言われて、会社の同僚から。オーラを出してるってそんな事を言っていたけど(笑)。

そういう風に何かその違うバイブレーションを出しますね。私が観音様にお会い出来た時には、全然違うバイブレーション。本当に違うバイブレーション。私達が悪いというのではないですよ。それはそれはもう凄い、何とつかもう、近寄りがたいけれども、素晴らしい方。遠くからただ崇めるだけで、「イヤー」という、そんな感じ。という風な方に出会えると思いますよ。瞑想で。本当に観音様はいます。



水源禪師法話集 68

(2016年10月8日 山梨合宿1日目)

2017年5月16日 発行

編集兼発行 一乗禅の会